

The Japanese Society for Time Studies

# 日本時間学会ニュース H28 年度第 1 号 (平成 28 年 4 月)

発行人 日本時間学会 会長 辻 正二  
〒753-8511 山口市吉田 1 6 7 7 - 1  
日本時間学会事務局 TEL&FAX 083-933-5848  
(山口大学時間学研究所内)

ご 換 拶



## 第 8 回大会開催にあたって

時間に関する学際的な研究を目指して、日本時間学会を旗揚げしてから、早いもので、8年目の大会を迎えることになりました。今年は、小山恵美理事のご尽力によって京都工芸繊維大学で開催することになりました。

本学会は、学会の顧問である広中平祐先生が山口大学の学長時代に設立された山口大学時間学研究所の関係者を中心に全国に呼びかけて設立されました。開催時期は「時の記念日」に近い土日ということで、今年は時の記念日の翌日の開催ということになりました。

これまでの開催でいうと、山口以外で開催したのは、第4回大会（立教大学）、第6回大会（保健医療経営大学）でしたので、今回は3回目になります。実は、第2回目は千葉（千葉大学）の予定でしたが、東日本大震災の影響で、山口に急きょ変更したために、2回大会は山口で行いました。今後は、開催引き受け校が増えてくれば、引き受け先を次第に外に移していったよいのではないかと個人的には思っています。

今回の第8回大会は、個人的には、期待していた大会といえると思います。と言いますのは、時間学にとって、京都という土地は、特別な場所のように思うからです。つまり、京都は、平安期から明治まで、日本の都が置かれ、朝廷による政治、神社仏閣、学問や芸能など、政治・経済・文化などの中心地でありました。時間学に関係することでは、旧暦時代の暦の観測・制定をしていた土御門家などは京都にありまして、ザビエルが持参した機械時計も天皇への献上品のはずでしたし、田中久重の手による万年時鳴鐘（万年時計）も京都を観測点にした作品でした。日本の文化的時間は、京都を中心に動いてきたと言ってよいと思います。最近のニュースで、文化庁の移転が京都に決まったという吉報が届きましたが、日本の伝統文化の持続的な展開のためには良き選択だったと思います。

時間には、さまざまな時間がありますが、社会的時間を人間的時間、文化的時間、経済的時間の三要素で捉えるとすると、近代は時間短縮による経済的時間が重視されすぎて、人間的時間や文化的時間が見過ごされるばかりか、それが、さらには自然的時間をも越境して、暴走状態になりつつあるように感じています。その意味では、時間本来の姿に立ち返って、人間社会の再構築が必要になっているのではと考えています。

まずは、時間学への関心を喚起し、時間を研究することの面白さや重要性、文理融合の必

要性等を地道に説いていく必要があるように思います。遠大な希望の元に、今年もこの学会という集いで、われわれの知の発信をしていきたいと思ひます。再会を、楽しみにしてひます。

日本時間学会会長

辻 正二

## I . 第 8 回 大会 案内

日本時間学会第 8 回大会は、下記の通り開催されます。

日時：2016 年（平成 28 年）6 月 11 日（土）・12 日（日）

場所：京都工芸繊維大学松崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎橋上町）

スケジュール

6/11（土）	9:30	受付開始	学会参加費1,000円/年会費の納入も承ります。
	10:00	開会式	一般演題 【セッション I】
	12:30	理事会	
	15:00	時間学公開学術シンポジウム	
	18:00	情報交流会	
6/12（日）	10:00	総会	
	13:00	一般演題	【セッション II】 【セッション III】
	16:30	閉会	

**セッションはスケジュールの都合により前後することがありますのでご理解ください。**

### i . 参加申込みについて

まもなくお送りする参加申込ハガキに参加の可否をお知らせください。総会は学会運営に関する皆さまのご意見を頂戴する大切な会ですので、積極的なご参加をお願いいたします。やむなく総会に不参加の場合は、必ず委任状欄へご記入・ご捺印ください。

シンポジウム終了後の交流会（参加費 3,000 円）の参加の可否についてもご記入いただきますようお願いいたします。

**\*大会参加申込みハガキおよび、委任状の締め切りは、**

**5 月 27 日（金）必着です。**

### iii. シンポジウムの概要

#### 2016 年度時間学公開学術シンポジウム「紛争後社会の再生と記憶」

期日：2016 年 6 月 11 日（土）：15:00～17:00

会場：京都工芸繊維大学

主催：山口大学時間学研究所

共催：日本時間学会

#### 【企画趣旨】

苛烈な（国内・国際間）紛争を経た社会では一般に、紛争時の出来事（とりわけ犠牲者・加害者たちに関連した出来事）にまつわる記憶を歴大な量で蒐集・記録化する、ある種の歴史学的なプロジェクトが進められる。国際機関、国家、司法、メディア、民間団体など、さまざまな主体によって「あの紛争でいったい何が起こったのか」についての証言＝記憶が人びとから引き出され、社会に向けてひろく開示・伝達される。紛争後（戦後）社会に共通してあらわれるこの種の運動は、どのような社会的条件に枠づけられつつ、どのような形式で進められるのか。過去の紛争の〈真実〉を探り出そうとするこうした試みは、紛争後の混沌的状况におかれた社会や個人が秩序と日常を取り戻す上でどのような意義や（反）作用を含んでいるのか。また、紛争についての異なる〈真実〉が競合・錯綜する状況——紛争経験者たちや紛争自体の多元的構制から不可避的に生成される状況——には、当該社会の再生にとってどのような正負の可能性が認められるか。このシンポジウムでは、南アフリカをはじめ近年の紛争後社会を事例にした基調講演から、こうした問いについてかんがえる。それらは、現代日本を生きる人びとに対してもきわめて現代的な意味を含んだ問いとなるはずである。

#### 【スケジュール】

15:00～開会

15:10～基調講演 阿部利洋先生

16:10～福間良明先生によるコメント

16:30～討議ならびに会場との質疑

17:00～閉会

#### 【登壇者ご略歴】

##### ・阿部利洋先生

大谷大学文学部・准教授。博士（文学。京都大学）。著書：『紛争後社会と向き合う』（京都大学学術出版会）、『真実委員会という選択』（岩波書店）など多数。

##### ・福間良明先生

立命館大学産業社会学部・教授。博士（人間・環境学。京都大学）。著書：『「戦跡」の戦後史』（岩波書店）、『「戦争体験」の戦後史』（中央公論新社）など多数

## 第8回大会スケジュール

会場：京都工芸繊維大学 60周年記念館

会期：平成28年6月11日(土)～12日(日)

### 第1日目 6月11日(土) 60周年記念館 2F 大セミナー室

10:00～ 開会  
挨拶 日本時間学会長 辻正二  
スケジュール説明 第8回大会実行委員長 小山恵美

10:20～12:20 一般演題 セッション I

12:20～ 休憩・昼食  大学内生協 KIT HOUSE  
カフェテリア「オルタス」営業中

12:30～ 理事会 会場：

14:00～ ポスターセッション

15:00～ 山口大学時間学研究所主催  
時間学公開学術シンポジウム：1Fホール  
「紛争後社会の再生と記憶」



18:00～20:00 情報交換会  
60周年記念館 2F 大セミナー室 参加費 3,000円 (当日徴収)

### 第2日目 6月12日(日)

10:00～11:30 日本時間学会第8回大会 総会 2F 大セミナー室

11:30～13:00 休憩・昼食  学内学生食堂は営業していません。  
各自ご持参ください。

13:00～14:20 一般演題 セッション II

14:20～14:30 コーヒーブレイク 

14:30～16:10 一般演題 セッション III

16:30 閉会



今年度から、総会で  
新会員の紹介を行うこ  
とにしました。

# 会場案内

## 京都工芸繊維大学 60周年記念館



## 1Fホール: 公開シンポジウム会場



収容人員 179人

## 2F大セミナー室: 総会・自由報告会場



バックヤードに  
椅子・テーブル



収容人員 90人

## iv. 宿泊と交通案内

京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパスまでのアクセスについては、下記URLをご参照ください  
[http://www.kit.ac.jp/uni\\_index/access/](http://www.kit.ac.jp/uni_index/access/)



京都駅からは、市営地下鉄烏丸線「国際会館」  
行きに乗車(約18分)

「松ヶ崎駅」下車、徒歩約8分

(「松ヶ崎駅」の「出口1」から右(東)へ約400m、四つ目の信号を右(南)へ約180m)

京都市内の宿泊事情は大変厳しいものがあるとのことですので、各自お早目に宿泊予約を  
されますようお願い致します。

## II. 事務局からのお願い

- 学会ニュースH28年度1号をお届けします。今回は第8回大会の案内号です。
- 平成27年度の学会費が未納の方におかれましては、別送します今年度分の会費請求と併せて何とぞ納入くださいますようお願い申し上げます。

一般会員・学振研究員	3,000円
学生・院生会員	1,500円
- 住所・電話番号・所属機関などの異動等がございましたら、事務局まで御一報下さい。

〒753-8511 山口市吉田1677-1 山口大学時間学研究所内  
日本時間学会事務局 TEL&FAX 083-933-5848

[mail@timestudies.net](mailto:mail@timestudies.net)

<http://timestudies.net/>

- 学会開催期間中の緊急連絡先 平田 ☎ 080-3884-0216 (Softbank)